

会議の名称	令和7年度 第1回美幌町次世代育成支援推進協議会
開催日時	令和7年12月19日 18:30~19:30
場所	役場第1会議室
会議録	要点記録とします
事務局	開会 出席委員は委員15名のうち、9名の出席。
早田会長	挨拶
早田会長	議事進行
事務局	議題(1)報告事項 ① 第3期 子ども・子育て支援事業計画について ② 美幌町立保育園の今後の在り方について ③ 認定こども園美幌大谷幼稚園の利用定員の変更について説明
質疑 ご意見	井上委員 待機児童が0となっているけれど、実際はどうなのかと思っている。 子育てしやすい街づくりのため受け皿を確保してほしい。 潜在的な保育士の把握をしてほしい。 →子育てしやすいまちづくりは大事な部分であるため、引き続きしっかりと進めていきたい。 潜在的な保育士の把握については、町内の保育士を把握し、保育人材を確保するのは、本人の事情等を考えると、難しいと考えている。 その中でファミリーサポート事業は、保育士資格にとらわれず、広く保育の支援者を登録することができるため、その事業の中で検討できると考える。
三上委員	ファミリーサポート事業の援助を行う側はどのような人か。 →保育の資格の有無にかかわらずに、子育て経験のある方が誰でもが、自分のできる範囲のことを、研修を受け協力できると、イメージしてもらいたい。
事務局	議題(2)協議事項 ① 3~5歳児の「小規模保育事業」に係る意見聴取について →町の考え方 現時点では小規模保育事業所新設についての申請・相談はない。申請があった場合は委員に意見を伺い、個別に検討するが、現時点において、導入は難しいと考える(資料3) ② 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)に係る意見聴取について →町の考え方 こども誰でも通園事業は、法的には民間認定こども園や町立保育園での実施も可能であるが、美幌町では、令和6年4月より施行事業として実施している子育て支援センターでの実施(資料4)
質疑 ご意見	井上委員 小規模保育事業とファミリーサポート事業の違いについて。 どんぐり保育園の従業員以外の利用について →「小規模保育事業」は入園し毎日通う保育、「ファミリーサポート事業」は必要な時などポイント、ポイントの保育。 どんぐり保育園は従業員のみの利用。
中川委員	小規模保育園に通っている札幌在住の孫の状況から、手厚くとてもよい保育園と考える。

→大きな都市では需要があると思われるが、現在の美幌町では申請もない状況。美幌では小規模であるが職員数を確保するなど、0歳～2歳までは困難であると考える。

井上委員 小学校入学前(4, 5歳)でどこの園にも通っていない児童がいるのか。
→厳密にいうと1人であるが、住民登録はしているが、現在日本にいない児童のみとなる。

急な預かりには対応してもらえないのか？
→ケースバイケースとなる。いつでも急に対応することは保育士体制の確保が必要となるため、可能な限りの対応となる。

現在の一時預かりの利用者は多いのか？
→100人くらいの登録であり、利用については、リフレッシュだけで、年間 300～400件となる。

三上委員 娘が一時預かりを利用している。
「ちゃんとご飯も食べました」とか、こんなことしていたのだなど状況がわかるよう記録してくれているので、とてもありがたがっている。

協議事項について特に異動なし

早 田 会 長 閉会

事 務 局 委員の任期の説明